

令和 5 年度事業報告書

公益財団法人宮崎県産業振興機構

目 次

○ 公益財団法人宮崎県産業振興機構の概要	1
○ 評議員会・理事会の開催状況	2
○ 令和5年度事業の概況	3

1 公益財団法人宮崎県産業振興機構の概要

(1) 目 的

県内中小企業における、経営基盤強化、経営の革新、技術の高度化及び新事業の創出並びに関係組織・機関との連携の推進等に資する事業を行うことにより、本県産業の振興を図るとともに、活力ある地域社会の形成に寄与することを目的とする。

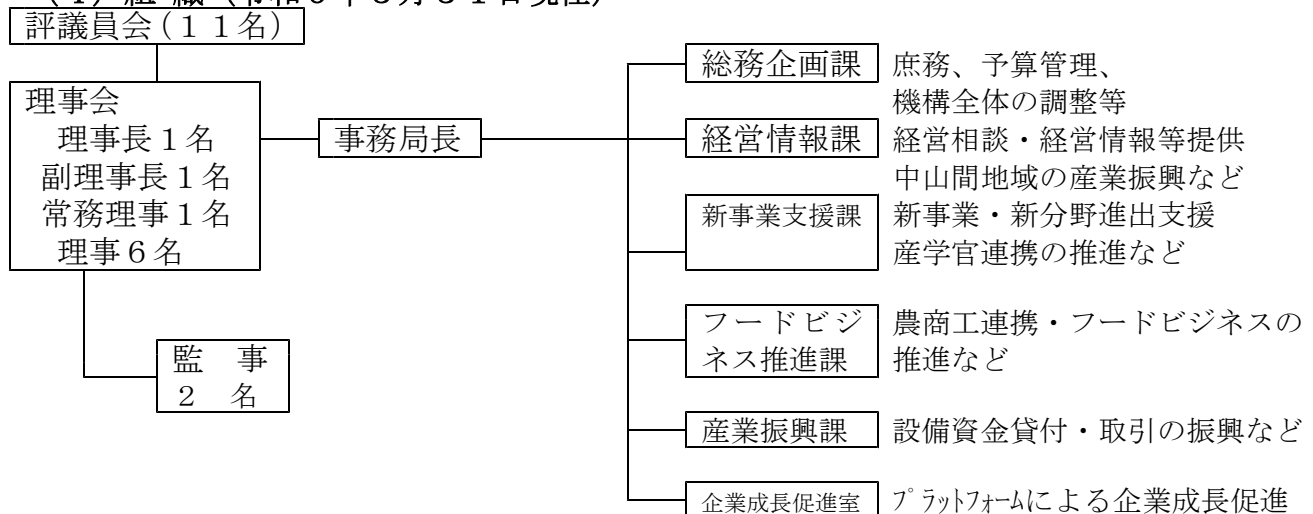
(2) 事 業

- ①経営課題等に対する相談、助言に関する事業
- ②新事業の創出、新分野への進出等に対する助成に関する事業
- ③経営基盤強化に資する取引振興、設備導入等に関する事業
- ④産業振興に資する情報の収集、分析及び提供に関する事業
- ⑤産業振興に資する人材の育成に関する事業
- ⑥産業振興の基盤づくりに資する人的、技術的ネットワークの強化及び高度化等に関する事業

(3) 沿 革

平12. 4	財団法人 宮崎県産業支援財団設立（4月1日） （財）宮崎県産業技術情報センター（昭54. 9 設立）と （財）宮崎県中小企業振興公社（昭43. 5 設立）を統合
25. 4	公益財団法人に移行、名称を公益財団法人宮崎県産業振興機構に変更

(4) 組 織（令和6年3月31日現在）



常勤役員	3 名
職員①（県派遣職員・フロハー職員・企業派遣職員）	15 名
職員②（有期雇用職員・無期雇用職員）	21 名
コーディネーター、アドバイザー等（委嘱契約等）	42 名
合 計	81 名

(5) 所 在 地

- ① 宮崎市佐土原町東上那珂16500番地2（宮崎県工業技術センター内）。
- ② なお、当機構が運営する「みやざきフードビジネス相談ステーション」は宮崎グリーンスフィア壱番館（K I T E N）3階に、また企業成長促進室の職員が事務局員を務める「宮崎県企業成長促進プラットフォーム事務局」は同7階に設置。

2 評議員会・理事会の開催状況

(1) 評議員会の開催状況

第1回評議員会

日 時：令和5年6月29日
場 所：宮崎観光ホテル 東館2階「紅」
議 事：(1) 令和4年度事業報告について
(2) 令和4年度収支決算について
(3) 評議員の選任について
(4) 役員の選任について

第2回評議員会

日 時：令和6年3月27日
場 所：ニューウエルシティ宮崎 2階「高千穂」
議 事：(1) 評議員の選任について
(2) 役員の選任について
(3) 評議員及び役員の報酬等に関する規程の変更について

(2) 理事会の開催状況

第1回理事会

日 時：令和5年4月1日 書面審議
議 事：(1) 業務執行理事の選定について
(2) 諸規定の改正について

第2回理事会

日 時：令和5年6月8日
場 所：K I T E N 8階コンベンションホール大会議室
議 事：(1) 令和4年度事業報告について
(2) 令和4年度収支決算について
(3) 令和5年度第1回評議員会の開催について

第3回理事会

日 時：令和5年6月29日 書面審議
議 事：(1) 代表理事及び業務執行理事の選定について

第4回理事会

日 時：令和5年10月24日
場 所：K I T E N 8階コンベンションホール中会議室
議 事：(1) 令和5年度上半期における事業の進捗状況等について
(2) 令和5年度事業計画及び収支予算の変更の専決等について

第5回理事会

日 時：令和6年3月5日
場 所：宮崎観光ホテル 東館2階「大虹」
議 事：(1) 令和5年度の業務執行状況等について
(2) 令和6年度事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資に見込みについて
(3) 令和5年度第2回評議員会の開催について

3 令和5年度事業の概況

第6期中期運営計画（令和5～8年度）の初年度となった令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、社会全体がコロナ禍からの景気回復に向けて動き始めた一方で、原材料等の物価高騰や人材不足の中、デジタルトランスフォーメーション（DX）やゼロカーボンへの対応も必要となるなど、引き続き多くの県内事業者が厳しい経営環境に置かれるとともに、県民の生活や経済活動にも大きな影響が及んだ。

こうした中、当機構では国、県及び関係団体と緊密な連携を図りながら、様々な要因により厳しい経営環境に置かれた県内中小企業に対する支援策を迅速かつ的確に実施するとともに、産学官の共同研究、事業者の新しいビジネスモデルへの転換や地域課題解決に向けた起業等の取組に対しても積極的に支援を行ったところである。

開設から10年目となった「よろず支援拠点」では、事業者からの相談への対応に加え、コーディネーターで編成したチームによる経営力再構築のための伴走支援を実施したほか、コワーキングスペースを巡回するセミナーや商工団体・金融機関等と連携した出張相談会の開催、女性起業家育成のためのプロジェクト事業や女性起業家の学びとマッチングを目的としたよろず女子会等を実施した。

食品関連事業者の様々な悩みや課題に対するワンストップ相談窓口として設置している「みやざきフードビジネス相談ステーション」においては、事業計画策定から商品開発、食品表示、販路開拓まで幅広く支援を行うとともに、これまでの支援事業者相互の交流を深めるための開設10周年記念セミナーを開催した。また、農山漁村発イノベーションサポートセンター及びみやざきLF（ローカルフードプロジェクト）事務局として、新たな取組に挑戦する農林漁業者等への支援を実施した。

企業成長促進室のプロジェクトマネージャーによるチーム支援では、自己変革力を身につけ、新たなビジネスモデルに挑戦し、環境変化に柔軟に対応できる企業を育成するため、「宮崎県次世代リーディング企業」として、新たに認定された2社を含む8社に対し伴走支援を行った。また、成長期待企業や次世代リーディング企業を対象に、情報交換に加え、異業種間交流やビジネスマッチング促進を図るため「企業成長促進サミット2023」を開催した。

取引振興においては、県外に配置しているアドバイザーと連携しながら、企業の取引に関する情報や技術の動向等を広く収集・提供するとともに、商談会や大都市圏で開催される展示会への出展なども行いながら、県内中小企業の取引拡大を図った。

また、こうした公益財団法人としての役割を果たしていくためには、財政基盤の安定化が不可欠であることから、引き続き、各事業の予算の執行管理を徹底するとともに、自主財源の確保を図るため、引き続き賛助会員の加入促進に努めた。

以上、令和5年度は、「みやざきの次代を担う企業を支援！」するという第6期中期運営計画の基本理念のもと、機構内の各課・室及び関係機関・団体間の連携を強化するとともに、経営者等との対話を通じて本質的な経営課題を把握し、より実効性のある支援にスピード感を持って取り組むよう心がけながら、県内中小企業・小規模事業者の持続的成長・発展に向け、職員一丸となって取り組んだところである。

令和5年度に実施した各事業の実績については、以下の通りである。

令和5年度事業費総括表

(単位：千円)

			最終予算額(A)	決算額(B)	差引額 (A)-(B)
(1)	経営課題等に対する相談、助言に関する事業		114,531	87,290	27,241
①	中小企業等経営再構築サポート事業	【経営情報】	10,000	5,064	4,936
②	みやざきビジネス応援プラザ運営事業	【経営情報】	2,739	2,633	106
③	よろず支援拠点事業	【経営情報】	101,792	79,593	22,199
(2)	新事業の創出、新分野への進出等に対する助成に関する事業		56,213	51,928	4,285
①	みやざき農商工連携支援事業	【フード】	8,000	7,333	667
②	技術開発支援コーディネート事業	【新事業支援】	4,996	4,774	222
③	環境イノベーション支援事業	【新事業支援】	23,685	22,852	833
④	知財等活用ビジネスプロデュース事業	【新事業支援】	15,000	14,243	757
⑤	中小企業特許出願等助成事業	【新事業支援】	4,532	2,726	1,806
(3)	経営基盤強化に資する取引振興、設備導入等に関する事業		149,803	143,810	5,993
①	取引振興事業	【産業振興】	19,546	19,544	2
②	みやざき小規模企業者等設備導入資金貸付事業	【産業振興】	130,257	124,266	5,991
(4)	産業振興に資する情報の収集、分析及び提供に関する事業		4,991	4,825	166
①	情報化支援活動事業	【総務企画】	4,991	4,825	166
(5)	産業振興に資する人材の育成に関する事業		18,770	18,267	503
①	人材育成事業	【新事業支援】 【産業振興】	18,770	18,267	503
(6)	産業振興の基盤づくりに資する人的、技術的ネットワークの強化及び高度化等に関する事業		171,648	139,598	32,050
①	中山間地域産業振興センター運営事業	【経営情報】	9,051	8,418	633
②	みやざき地域課題解決型起業支援事業	【経営情報】	24,950	15,268	9,682
③	東九州メディカルバレー構想拠点強化事業	【産業振興】	5,170	5,148	22
④	フードビジネス推進基盤強化事業	【フード】	53,000	49,295	3,705
⑤	農山漁村発イノベーションサポート事業	【フード】	5,126	5,126	0
⑥	LFP強化事業	【フード】	9,100	7,500	1,600
⑦	プラットフォームによる地域産業・企業成長促進事業	【企業成長】	43,251	29,383	13,868
⑧	新事業創出支援事業	【企業成長】	22,000	19,460	2,540
計(1～6)			515,956	445,718	70,238
(7)	その他		105,114	95,312	9,802
	その他事業活動支出		105,114	95,312	9,802
合 計			621,070	541,030	80,040

(1) 経営課題等に対する相談、助言に関する事業

①中小企業等経営再構築サポート事業（事業費：5,063,909円 県）

事業の再構築に取り組む企業に対して、当機構内にプロジェクトチームを構成し、支援計画の策定、コーディネーター等による助言指導や専門家派遣等の伴走支援を行うことで、事業継続が図られるとともに、新たな成長への基盤づくりを行うことができた。

支援企業数	9社
専門家派遣回数	延べ54回

②みやざきビジネス応援プラザ運営事業（事業費：2,632,915円 機構）

創業意欲があり優れた事業計画を持つ個人起業家やベンチャー企業を支援・育成するため、インキュベーションルームを低価格で提供するとともに、よろず支援拠点と連携して経営に関する指導・助言を行い、一貫した創業支援を行った。

入居者数	5社	（令和6年3月末現在）
------	----	-------------

③よろず支援拠点事業（事業費：79,592,616円 国）

中小企業や小規模事業者の起業・成長・安定の各段階のニーズに応じたきめ細やかな対応を図るため、中小企業診断士、弁護士、税理士、広告戦略やIT関連分野の専門家など、総勢22名のコーディネーターを配置し、多様な相談に対応した。

相談対応に当たっては、宮崎市中心部、都城市、延岡市、日南市にそれぞれサテライトを開設するとともに、県内の創業支援拠点（都城市未来創造ステーション、えびの市起業支援センター等）や金融機関で出張相談会を開催するなど、相談者の利便性向上を図った。

また、最も相談者が多い宮崎市中心部のサテライトについては、令和3年9月にコワーキングスペースである「ATOMica宮崎」に移転し、相談者の利便性の更なる向上とコワーキングスペースを活用する事業者や個人事業主、起業を検討している方への相談対応など新規相談者及び人材の獲得に取り組んでいる。

（コーディネーター 22名 ※令和6年3末日）

チーフコーディネーター	川野 圭介	中小企業診断士
サブチーフコーディネーター	長友 慶徳	弁護士、弁理士
	柳本 明子	IT企業代表
	宮本 祐輔	中小企業診断士
コーディネーター	糸山 秀彦	税理士
	江藤 裕一	コンサルティング企業代表
	海老澤まさかず	IT企業代表
	倉吉 教文	元商工会議所専務
	黒田 泰裕	中小企業診断士
	河野 宝	税理士
	島中 星輝	デザイン企業代表
	下松 孝裕	中小企業診断士
	高橋 忠伸	中小企業診断士
	中城 健太	中小企業診断士
	新田 裕章	中小企業診断士
	畠山 容子	広告事務所代表
	馬場 拓	中小企業診断士
	堀川 寿美恵	社会保険労務士
	松田 敬一	広告制作会社代表
	宮田 理恵	コンサルティング企業代表
	森 祐一	HACCP総合支援マネージャー
	小園 勝之	アートディレクター

(企業相談実績)

業 種	相談件数
サービス業	2, 6 0 5 件
卸売業、小売業	1, 1 2 5 件
宿泊業、飲食業	8 7 1 件
製造業	5 4 9 件
農業・漁業・林業	3 0 2 件
医療・福祉	3 5 2 件
建設業	3 0 3 件
その他	4 3 5 件
合 計	6, 5 4 2 件

課 題	相談件数
経営知識	1, 1 8 4 件
広報戦略・広告デザイン	1, 0 3 2 件
事業計画策定	9 7 1 件
施策活用	4 1 8 件
販路提案	7 1 2 件
I T活用	6 4 0 件
資金繰り	3 0 3 件
現場改善・生産性向上	2 1 9 件
市場設定・調査	2 2 8 件
商品開発	2 4 7 件
雇用・労務	1 8 1 件
事業連携	1 3 4 件
その他	2 7 3 件
合 計	6, 5 4 2 件

(出張相談会開催状況)

開催回数	相談者数	開催場所
2 0 7 回	1, 1 3 3 名	日本政策金融公庫宮崎支店 日本政策金融公庫延岡支店 商工中金宮崎支店 宮崎第一信用金庫本店 宮崎第一信用金庫都城営業部 宮崎第一信用金庫日南営業部 宮崎商工会議所 都城市未来創造ステーション 延岡コワーキングスペース えびの市起業支援センターほか

(セミナー開催状況)

開催回数	参加者数	開催テーマ
6 3 回	7 1 2 名	・ I T活用に関すること ・ 雇用に関すること ・ インボイスに関すること ・ 創業に関すること ・ 事業承継に関することなど

(その他)

○みやざき女性起業家育成プロジェクトN-ext

開 催 日：令和5年11月11日（土）

会 場：A T O M i c a 宮崎

参 加 者：最終審査進出者、審査員等

内 容：県内で新たなビジネスに挑戦する女性を対象にコンテストを実施。書類審査、プレゼンテーション審査を経て、優秀賞3名を決定（下表）。

応募総数 2 5 名 最終審査進出者 1 0 名

氏 名	プラン名	概 要
倉 倫子	女性達へ変わる体に「あきらめる」をいわせない シームレスに寄り添う 最強 ワークパンツ R i n p a n (リンパン)	産前産後や妊娠中でも現場で活躍できる、働く女性のパンツの製作・販売
椎屋 美鈴	福祉の精神とビジネスの融合 ～みんなが幸せになる着地点	人材不足の解消と病児向け多機能型福祉施設の運営の両立
関島 美弥	町の目的地ブランディング	事業承継した地元のパン屋の広域的集客を可能とするカフェへの転換

○宮崎県よろず支援拠点地域支援機関連携フォーラム

開催日：令和5年10月17日（火）

会 場：K I T E N 8階コンベンションホール

参加者：県内の金融機関等の支援機関ほか

参加人数：79名

内 容：支援事例発表、セミナー「エンジニアと起業」

(2) 新事業の創出、新分野への進出等に対する助成に関する事業

①みやざき農商工連携支援事業（事業費：7,332,820円 県）

中小企業者又は農林漁業者による地域資源を活用した、宮崎県産の素材に付加価値を付ける商品開発・商品改良の取組を支援した。

また、コロナ禍後の新たな消費者ニーズや物価高に対応した商品開発等を促進するため、ECを活用した販路開拓に関するセミナーや個別相談等を実施した。

ア 商品開発・商品改良の取組への支援

	事業者名	事業計画名
1	(株)オンザマーク	小麦粉を使用しないお菓子の開発（みやだいずを使用し、県内農産品を使用した新商品の開発とパッケージとパンフレットのデザイン作成）
2	おかし屋さんhapihapi	販売拡大・販路拡大のためのデザイン・パッケージ・販促ツール制作
3	フルーツデザイン(株)	宮崎県産フルーツでつくるギフト用「REFURU（リフル）みやざきチーズケーキ」の商品開発、及び販路拡大プロジェクト
4	(有)竹炭の里	県産素材と伝統的炭焼技術を組み合わせた新商品開発
5	千徳酒造(株)	県内初の粕取り焼酎を高付加価値商品として、思わず手にとりたくなるパッケージを形にして販路拡大を展開する。
6	(株)SHIN-SEIアグリ事業部	宮崎県産赤紫蘇の自社抽出加工「赤紫蘇抽出エキス」を活用した「赤紫蘇サイダー」の開発
7	ティケイ・エビス(株)	新鮮なレバーを利用した逸品『極トロレバー』で国産鶏肝の魅力を全世界へ
8	じろう畑とまさみの食卓	自家製落花生で作る「香ばしいピーナッツドレッシング」のレシピ・商品開発
9	(株)アシェンテ	宮崎県産小麦を使用したドーナッツ販売強化事業
10	奥霧島地域商社 つながるたかはる(株)	高原町産ニジマスを活用した宮崎名産の新開発事業

11	エスニック料理ハロハロ	店舗の魅力が詰まった4種の冷凍食品ギフトの開発
----	-------------	-------------------------

イ セミナー等

- ・商品開発を含めたネットショップ運営に関する基本的事項のセミナー
3回実施 参加32者
- ・EC販売やマッチング、商品開発等についてのオンライン相談
1コマ1時間程度 18回実施
- ・商品提案書の作成をワークショップで学び、作成した提案書と商品サンプルを求評会に提出して、結果をオンラインで個別に解説 参加9事業者

②技術開発支援コーディネート事業（事業費：4,774,146円 県）

公募型研究開発プロジェクトへの提案内容の企画・設計を行うコーディネーターを配置することにより、優れた研究成果の事業化を支援した。

③環境イノベーション支援事業（事業費：22,852,128円 県）

- i 産業廃棄物の排出抑制やリサイクルを促進するため、産学官が連携した共同研究グループや県内企業が行う環境リサイクル関連の新事業創出に対して支援を行った。

	テ ー マ	管理法人	共同研究者
1	バイオスティミュラントに着目した新しい堆肥製造のための分析サービスの確立 【F/S】4年度採択	環境土壌クリニック	(有)エコロ
2	宮崎県産水産物由来未利用資源のシニア食への応用可能性基礎実験 【基礎実験型F/S】4年度採択	(株)九州築地	宮崎大学 宮崎県食品開発センター
3	発酵技術を用いた産業廃棄物であるおからの新たな食用利用 【R&D】4年度採択	(株)オカラテクノロジー	宮崎県食品開発センター
4	鶏ふんの燃料ペレット製品の実用化に向けた研究開発 【R&D】4年度採択	(株)松山	都城工業高等専門学校
5	漬物残さからの有用成分回収技術の開発 【R&D】4年度採択	(株)上沖産業	宮崎県工業技術センター
6	マットレスリサイクルに関する可能性の調査 【F/S】5年度採択	九州北清(株)	—
7	糖廃液排出削減のための処理工程の最適化の基礎実験型調査 【基礎実験型F/S】5年度採択	(株)穴吹ハウジングサービス	宮崎大学
8	処理困難な多種類の産業廃棄物を利用した固形燃料（RPF）の製造のための基礎実験型調査 【基礎実験型F/S】5年度採択	(株)塩川産業	宮崎大学

- ii 環境リサイクル関連事業で支援した研究開発成果の事業化や製品の販売促進を図るため、企業の展示会等への出展支援を行った。

	テ ー マ	事業者名
1	「フードストアソリューションズフェア2023」、 「フードエキスポ九州2023」、 「メイカングループ展示商談会」、「フードスタイル関西」、 「スーパーマーケット・トレードショー2024」、 「FOODEX JAPAN 2024」への出展及び 「新宿KONNE」での試食販売	(株)MOMIKI
2	「中小企業 新ものづくり・新サービス展」への出展	吉玉精鍍(株)

- iii 環境リサイクル関連の研究開発テーマの掘り起こしを図るため、県内企業の潜在的開発ニーズや大学・公設試・企業の研究・技術ニーズの調査等を行った。

【研究開発等ニーズ調査】

- ・調査企業数：県内企業 570 社（回答数 98 社 回答率 17.2%）
- ・成 果：研究開発テーマ候補 6 件を掘り起こした。

④知財等活用ビジネスプロデュース事業（事業費：14,243,400円 県）

事業戦略の策定・実現に係るスキルを持つビジネスプロデューサーと連携し、県内中小企業における知的財産及び無形資産を活用した事業創出や、新たな販路・取引先の開拓等を伴走支援するとともに、担当支援機関における支援ノウハウの蓄積を図った。

（支援概要）

支援企業	担当支援機関	支援内容
(株)菓te-ri	椎葉村商工会	新商品の開発 販路開拓 等
(株)ひなもり銘木	小林商工会議所	ベンチャー企業とのマッチング 販路開拓 等
(有)ギフトハウスマエダ	日南商工会議所	県内企業との共同開発 販路開拓 等
(株)イート	(株)宮崎銀行	県内企業との共同開発 首都圏でのマーケティング 等

⑤中小企業特許出願等支援事業（事業費：2,725,610円 国 機構）

ア 知的財産を活用した中小企業の振興を図るため、中小企業の特許出願、意匠出願に要する経費の助成を行った。

助 成 件 数	助 成 金 額
5 件	459,000円

イ 中小企業等が外国での事業展開等に活用する産業財産権（特許、実用新案、意匠商標、冒認対策の出願）に要する経費の助成を行った。

助 成 件 数	助 成 金 額
4 件	2,210,000円

(3) 経営基盤強化に資する取引振興、設備導入等に関する事業

①取引振興事業（事業費：19,544,546円 県）

下請取引等に関する企業情報、技術動向等を広く収集・提供するとともに、商談会の開催、展示会への出展支援により、中小企業の受注の確保と取引先の多角化を支援した。

（登録企業の状況）

区 分	令和5年度登録実績	累計登録企業数
発 注 企 業	—	221 企業
受 注 企 業	4 企業	434 企業
計	4 企業	655 企業

（事業実績）

ア 受発注情報等収集提供事業

区 分	件 数
取引あっせん・紹介件数	485 件
指導・相談件数	95 件
内 取引あっせん	77 件
内 経営関係	1 件
内 技術関係	4 件

内 その他	13 件
県外企業訪問件数	288 件
成立件数（過年度含む）	112 件
成立金額（ 〃 ）	169,174 千円

イ 商談会等開催事業

名称・開催日	会 場	参加企業数	備考
ものづくり取引拡大商談会（宮崎） 令和5年9月5日、6日	MRTmicc （宮崎市）	発注企業 9 社 受注企業 46 社 商談件数 115件	機構主催の商談会
ものづくり取引拡大商談会（福岡） 令和5年11月16日	天神スカイホール （福岡市）	発注企業 10 社 受注企業 21 社 商談件数 61 件	機構主催の商談会
製造技術マッチングフェア（北九州市） 令和5年7月5日、6日	西日本総合展示場 （北九州市）	発注企業 41 社 受注企業 15 社 商談件数 57 件	九州7県合同の対面、Web商談会
Web商談会 令和5年4月17日 令和5年5月17日 令和6年3月13日～15日	オンライン	発注企業 10 社 受注企業 29 社 商談件数 45 件	機構主催のWeb商談会

ウ 展示会等出展支援事業

名称・開催日	会 場	参加企業数	備考
機械要素技術展（関西） 令和5年10月4日～6日	インテックス大阪（大阪市）	県内企業 6 社	宮崎県ブースに県内企業と出展
機械要素技術展（九州） 令和5年11月29日～12月1日	マリンメッセ福岡（福岡市）	県内企業 5 社	宮崎県ブースに県内企業と出展
中小企業テクノフェア 令和5年7月5日～7日	西日本総合展示場（北九州市）	県内企業 1 社	宮崎県ブースに県内企業と出展（製造技術マッチングフェアと併催）

②みやざき小規模企業者等設備導入資金貸付事業（事業費：124,266,239円 県）

小規模企業者の経営基盤強化に必要な設備の導入に対する貸付を行い、企業の経営基盤の強化を支援した。

貸付実績

業 種 別	令和5年度 資金貸付実績		(参考) 令和4年度 資金貸付実績	
	件数	金額（千円）	件数	金額（千円）
農林水産業	1	22,870	1	25,000
建設業	1	25,000	3	22,990
製造業	4	72,220	2	47,000
その他	0	0	0	0
合 計	6	120,090	6	94,990

(4) 産業振興に資する情報の収集、分析及び提供に関する事業

①情報化支援活動事業（事業費：4,824,717円 県）

機構特選トピックスやイベントカレンダーなど活用頻度が高いコンテンツを安定的に運用しつつ、相談業務を伴う支援策や機構の重要施策は中小企業等がより見つけやすいようサイドメニューに配置するなど、より分かりやすい情報提供を行った。また、中小企業・ベンチャー支援策等のPRを行うためパンフレットの作成や、中小企業等に

有益な支援策を提供するメールマガジンを発行した。

パンフレットの発行	発行部数 2, 000 部	
メールマガジンの配信	配信回数 23回	登録読者数 1, 764 者(R6.3.31)

(5) 産業振興に資する人材の育成に関する事業

①人材育成事業（事業費：18,266,545円 機構 全国協会）

中小企業の経営力・技術力の向上や企業の将来的成長につながる経営者・技術者等の人材育成を図るため、研修等に要する経費を助成した。

ア 企業経営力アップ人材育成支援事業

中小企業の経営管理能力や技術力の向上を図るため、県内の中小企業の経営者や従業員が国内の公私機関で実施される専門的な研修に参加したり、講師を招聘して研修を開催する場合の経費の一部を助成した。

(助成先)

39社

(助成実績)

研修等の内容	延べ企業数	延べ参加者数
経営管理関係	21 件	165 人
技術力向上関係	17 件	103 人
その他	2 件	63 人
合計	40 件	331 人

イ 未来みやざき産業人材育成事業

ものづくり産業人材の育成を図るとともに、県内の新たな市場・産業の創出及びデジタル技術導入など、県内産業の持続・発展を促進するため、県内中小・中堅企業等の従業員等が取り組む地域資源等を活用した研究開発、新サービスの開発、デジタル技術の導入を支援した。

	テーマ	企業名	備考
1	自社商品「四億年のめぐみ」及び自社事業と観光産業の連携による新たな着地型観光商品の開発	(株)藤木石油店	自社製品と五ヶ瀬町の観光名所及びナイトアクティビティを組み合わせた着地型観光開発に向けた実証実験に取り組む。
2	汎用性の高い国内外プロモーション用動画制作と実証研究	早川しょうゆみそ(株)	粉末みそスパイスの国内外販売展開における視覚効果の高いプロモーションに向けた実証実験に取り組む。
3	ハンドメイド・クラフトの手作り体験教室（ワークショップ）事業のプラットフォーム構築と観光産業とのコラボレーション検証	合同会社ツクレタ	ハンドメイド分野における作家と顧客ニーズを結びつけるプラットフォーム構築及び観光産業との連携における実証実験に取り組む。
4	陸上魚類養殖におけるリアルタイムカメラを活用したデジタル管理化に向けた実証試験	(有)大田商店	養殖における魚の活性状況及びいけすからの飛び出し事故防止に向けて、webカメラを活用したモニタリング実証実験に取り組む。
5	I o Tを活用した製造現場DX化の確立	アルバック機工(株)	製造機械の稼働状況等をモニタリングし、製造現場の最適化に向けた実証実験に取り組む。
6	ID・メモリ付きタグの共通検査機の開発	吉川工業アールエフセミコン(株)	仕様の異なるRFIDタグ製造後の検査工程における共通検査機器の開発に取り組む。
7	施設園芸ハウスにおける電	(株)アルバ宮崎	電熱シートを用いた新たな農産

	熱シート（PHF）を用いた地温コントロール栽培技術の開発		物栽培技術開発に取り組む。
8	サツマイモの深紫外線（UVC）殺菌技術の開発	㈱MFE HIMUKA	深紫外線を活用したサツマイモ貯蔵時における殺菌技術開発に取り組む。
9	昆虫食への展開に向けた効率的コオロギ飼育の構築及び衛生的コオロギパウダー製造技術の開発	㈱宮防	コオロギの効率的な飼育方法の構築及び昆虫食展開に向けた加工技術開発に取り組む。

(6) 産業振興の基盤づくりに資する人的、技術的ネットワークの強化及び高度化等に関する事業

①中山間地域産業振興センター運営事業（事業費：8,418,379円 県）

中山間地域における事業者等からの相談に対応する「中山間地域産業振興コーディネーター」を配置し、地域資源等を生かした商品の開発や販路拡大の支援のほか、中山間地域の産業振興に資する「中山間セミナー」を実施した。

セミナー開催

開催日	会場	参加者数	内容
令和5年10月30日 (月)	木城町総合交流センター	41名	講演： テーマ「在籍出向について」 講師：森川修氏 (産業雇用安定センター所長) 在籍型出向の農業現場での利用例について分かりやすく解説。
令和6年2月20日 (火)	道の駅高岡	18名	講演： テーマ1 「商品開発からの登録商標について」 講師：川口敬義氏 (INPIT宮崎)
令和6年2月21日 (水)	道の駅つの	21名	テーマ2 「整理収納アドバイザーからみる現場の考え方」 講師：金丸央子氏 (整理収納アドバイザー)

②みやざき地域課題解決型起業支援事業（事業費：15,267,856円 県）

地域課題の解決に取り組む新たな起業者を対象に、起業支援金の交付及び事業の立ち上げ等に伴走支援を行った。

補助件数：6件

補助金額：10,385,000円

	商号	事業内容	開業届出日等
1	㈱こころケア	認知症に係る高度な専門性を有する訪問介護ステーション事業	R5年 9月4日
2	A LOCCA	地域の農産物を活用した手作りジェラートの製造・販売	R5年 12月20日
3	ZK COFFEE LAB.	自家焙煎スペシャルコーヒーや自家製パン、焼菓子の製造・販売	R5年 10月5日
4	合同会社 Lien	発達障がい、不登校等の児童が福祉サービスを受けるための、相談から申請を円滑に進める相談支援事業	R5年 5月10日
5	Tsuyano Fresca	地域の農水産物を活用したイタリアンを提供する、古民家再利用のレストラン	R5年 11月7日

6	宿家 s a l v a g e +	自然を楽しむアクティビティ客をターゲットとした、地域食材を活用する飲食及び宿泊の施設	R 5 年 1 1 月 1 5 日
---	-----------------------	--	----------------------

③東九州メディカルバレー構想拠点強化事業（事業費：5,147,845円 県）

東九州メディカルバレー構想が掲げる4つの拠点づくりのうち、「医療機器産業の拠点づくり」を推進するため、県内中小企業の医療機器産業への新規参入や取引拡大、県内大学等との共同による医療機器開発等を段階的に支援できるよう2名のコーディネーターと1名のアドバイザーを配置した。

（コーディネーター等の業務）

名 称	業務内容
参入支援・開発支援コーディネーター	大学や臨床現場での情報収集、県内企業への情報提供及び助言等
販路開拓コーディネーター	マーケットニーズの情報収集、県内企業への情報提供及びマッチング支援等
薬事戦略アドバイザー	医療機器の開発に係る情報収集、県内企業への情報提供及び助言・指導等

④フードビジネス推進基盤強化事業（事業費：49,295,248円 県）

フードビジネスに関係する事業者等の様々な相談に対応するため、経営・財務、販売戦略、販路開拓、デザイン、海外展開等の専門家を配置した総合相談窓口「みやざきフードビジネス相談ステーション」を設置し、フード関連の関係機関とも連携を図りながら、相談者の課題解決に向けた助言や提案等の支援に取り組んだ。相談は、面談のほかオンラインでも実施し、ステーションを利用しやすいように努めた。

ア 担当コーディネーター等（19名）

コーディネーター	藤藪 志保	商品開発、レシピ、食品表示
	森 祐一	商品開発、販路開拓
	諏訪園 哲哉	商品開発、経営管理、品質管理
	大角 恭代	商品開発、食品表示
	久松 愛	商品開発、衛生管理
アドバイザー	奥山 真智子	品質管理、H A C C P
	上野 晃治	事業計画、販売促進、マーケティング
	川越 おもと	品質管理、H A C C P
	小松 弘幸	品質管理、H A C C P
	小治 健太郎	研究開発、食品の機能性分野
	八田 淳	調理
	安藤 孝	食品の機能性分野、化学分析
	湯浅 まき子	食品表示
	中治 十成	品質管理、H A C C P
	尾崎 恒夫	生産設備、食品工場設計
	上田 泰弘	海外展開支援
	頼 進文	その他（調理）
	長田 隆	品質管理、国際規格（HACCP）
	吉元 誠	商品開発、研究開発

イ 相談実績

相談区分	相談件数
商品開発	3 4 2
食品表示	2 5 5
国、自治体等の助成金	1 4 1
販路開拓	1 3 9
マッチング	1 3 4
衛生管理	5 7
情報収集・調査	5 4
事業計画	5 2
デザイン	4 1
マーケティング	3 1
その他	1 8 1
計	1, 4 2 7

ウ 相談対応以外の活動内容

- ・ホームページ、フェイスブックによる情報提供
フードビジネスに取り組む企業等にステーションの活動を分かりやすく紹介するために、機構のホームページ内に「みやざきフードビジネス相談ステーション」のページを設けるとともに、フェイスブックのアカウントを作成し、随時更新しながら情報提供を行った。
- ・連絡会議等の開催
フードビジネス相談ステーションの相談案件等について、関係機関の情報共有及び事業の円滑な推進を図ることを目的に、月1回連絡会議を開催した。
- ・ステーションニュースの発行
フードビジネス相談ステーションのPRを積極的に図っていくため支援事例等を中心に年6回発行し、関係機関へ幅広く周知を図った。
- ・食品表示相談会の開催
食品表示の適正な作成に取り組む企業を対象に相談会を月1回開催し、27事業者30件の相談に対応した。
- ・ステーション開設10周年記念セミナーの開催
開設10周年を記念してセミナーを開催して、基調講演や県内事業者が参加するパネルディスカッション等を行い、フードビジネス振興の促進を図った。
(参加者158名)

⑤農山漁村発イノベーションサポート事業（事業費：5,126,000円 県）

農山漁村発イノベーション※に取り組む事業者に対し、専門家（プランナー）の派遣を行い、経営改善に必要となる伴走支援を行った。

※これまで農林漁業者が取り組んできた6次産業化をさらに発展させ、地域の文化・歴史や森林、景観など農林水産物以外の多様な地域資源も活用し、地元の企業なども含めた多様な主体の参画によって新事業や付加価値を創出する取組み

【派遣実績】

12事業者に対し、延べ163回

【支援対象事業者一覧】

	事業者名	所在地	主な支援内容
1	(株)田口ファミリーファーム	延岡市	観光農園を核とした交流施設の整備に伴う事業計画作成及びカフェのブランディング支援
2	(有)観音池ポーク	都城市	事業承継に向けた社長業の「見える化」「スリム化」、新施設整備計画の作成
3	(株)宮防	宮崎市	コオロギ事業の今後の展開についての整理と経営改善戦略の作成
4	su-nao farm 杉村 直樹	川南町	夏季のいちご加工品製造のための支援といちごの青果生産販売を含めたブランディング

5	(株)リフル	綾町	自社の農産物や加工品の直売及びレストラン整備等による新たな経営戦略への支援
6	甲斐 正太郎	延岡市	製茶工場と商品の効果的なPRと認知度アップ
7	(株)日高水産	延岡市	新商品の販路開拓と販売方法及び雇用体制の見直しによる経営計画の再構築
8	(株)宮崎なかむら農園	宮崎市	財務改善のための提案と日向夏の加工品の製造販売
9	杉尾農園 杉尾 昌幸	西都市	ニラの加工品の販路開拓及び経営改善戦略作成
10	(有)竹炭の里	国富町	竹炭を使った自社商品の販路開拓・拡大にあたっての課題整理と経営改善戦略の作成
11	(株)岩戸精米	高千穂町	自社の現状を踏まえた今後の事業展開の見える化と事業計画の作成
12	ひなた原木椎茸(株)	日向市	組織体制の確立、原木椎茸のセールスポイントの整理、販路拡大

⑥みやざきローカルフードプロジェクト（LFP）強化事業

（事業費：7,500,000円 県）

地域の農林水産物が地域産業の中で有効活用されるよう、地域の食品産業を中心とした多様な関係者が参画するプラットフォームを形成し、それぞれの持つ経営資源をプラットフォームに結集し、社会的課題解決と経済的利益の両立を目指した自発的かつ持続的な新たなビジネスの創出を図った。

（活動内容）

- ・みやざきLFPプラットフォームの運営 会員数249事業者
- ・研修会及びワークショップの開催（3回）
- ・「プロジェクトの卵」発表会の開催
- ・中間報告会及び成果報告会の開催
- ・プロジェクト支援（6プロジェクト）

	事業主体【構成員】	事業概要
1	マーケットインプロジェクト 【(株)トレードメディアジャパン、(有)緑の里りょうくん、(株)宮崎なかむら農園、(株)宮崎茶房、井上酒造(株)、(株)あふれる】	海外の20～30代の女性をターゲットにした県産果実等（日向夏、グレープフルーツ、茶）を使用したリキュールの開発
2	みやざき小麦粉・米粉活用プロジェクト 【(株)アシェンテ、井野農園、(株)本坊農園、(有)重永建設、(株)野崎ファーム、おたに家(株)、JA宮崎経済連、(株)ラディッシュ、(株)毎日每人、(株)都農ワイン、(株)宮交シティ、(株)あふれる、ふらんす食堂Bistroマルハチ、南九州大学】	県産小麦や米粉を活用した新商品（パン・菓子・餃子）の開発及び販路開拓と県産原材料の消費拡大を契機とした産地づくり
3	「米粉×スポーツランドみやざき」新時代アスリート食プロジェクト 【(株)SAKU、(株)本坊農園、(有)シードカルチャー、(株)トレードメディアジャパン、(株)宮交シティ、(株)宮崎観光ホテル、(株)eat Link、(株)あふれる】	県産米粉を活用したプロサッカー、プロ野球選手等アスリート向け「グルテンフリー食パン」及び「スポーツ・シリアルバー」の開発
4	みやざきバナナ葉活用プロジェクト	高食物繊維・高たんぱく質・ミネラル

	【ネクストファーム(株)、プラバファーム、いちごポタジェ(株)、(株)宮崎なかむら農園、(株)ひむか農園、(株)MAGRI、アリマン乳業(有)、(株)SUNAO製菓、(株)宮交シティ、(株)食品検査・研究機構、(株)eat Link、宮崎大学】	含有等の機能性を有したバナナの葉と県産プロテイン（県産ホエイ利用）の組み合わせによる健康飲料の開発。 ※フレーバーとして県産バナナや日向夏、へべす等を活用。
5	ニンジンブリッジプロジェクト協議会 【(有)シードカルチャー、有木農園、合同会社香月ワインズ、大山食品(株)、(株)トレードメディアジャパン、(株)JTB宮崎支店、(株)エイチ・アイ・エス、綾川荘、(有)ティーネットプロ】	綾町の有機農業の取組や農産物・加工品等を海外でPRし、綾町への誘客人流（フィールドワークやモニターツアーなどの誘客）につなげるサービスの開発
6	宮崎ローカルフード協議会 【ジャパンキャビア(株)、ケンコー食品工業(株)、はまや(株)、合同会社木の芽時、北浦さかな未来協議会】	A品から未利用食材まで掲載された「宮崎ローカルフード旬菜辞典」の制作及び未利用食材を用いた「みやざき茶漬け」の開発

⑦プラットフォームによる地域産業・企業成長促進事業（事業費：29,383,263円 県）

産学金労官の13機関で構成される企業成長促進プラットフォームの事務局を運営し、成長期待企業の認定を行うとともに、同プラットフォーム構成機関が連携した企業訪問等による指導・助言や企業の成長を促進する支援策等により、中核企業育成に向けた重点的な支援を行った。

ア 成長期待企業の認定

成長期待企業数	29社
---------	-----

【成長期待企業一覧】

（五十音順）

	企業名	業種	所在市町村
1	(株)池上鉄工所	生産用機械器具製造業	延岡市
2	(株)井崎製作所	金属製品製造業	新富町
3	(株)一平ホールディングス	飲食業／小売業	宮崎市
4	(株)英楽	食料品製造業	門川町
5	(株)オフアサポート	老人福祉・介護事業／学習支援事業	宮崎市
6	(株)九建	総合工事業	宮崎市
7	(株)くしまアオイファーム	農業	串間市
8	(株)コア・クリエイトシステム	情報サービス業	宮崎市
9	(株)サニー・シーリング	印刷・同関連業	都城市
10	(株)システム技研	生産用機械器具製造業	都城市
11	(株)修電舎	電気機械器具製造業	延岡市
12	(株)新海屋	食料品製造業	延岡市
13	(株)SHINGAKI	飲食料品卸売業	宮崎市
14	(株)SUNAO製菓	無店舗小売業	宮崎市
15	スパークジャパン(株)	情報サービス業	宮崎市
16	(株)高嶺木材	木材・木製品製造業	日南市
17	(株)新原産業	その他の卸売業	三股町
18	日本情報クリエイト(株)	情報サービス業	都城市
19	ネオフーズ竹森(株)	食料品製造業	都城市
20	(株)日向屋	食料品製造業	門川町
21	マイクロエース(株)	金属製品製造業	宮崎市
22	(株)宮防	職別工事業(防水工事等)	宮崎市

23	(株)モリタ	輸送用機械器具製造業	宮崎市
24	森山工業(株)	金属製品製造業	延岡市
25	ヤマエ食品工業(株)	食料品製造業	都城市
26	(株)山崎産業	総合工事業	延岡市
27	大和フロンティア(株)	木材・木製品製造業	都城市
28	吉田産業(株)	木材・木製品製造業	日南市
29	(株)ワン・ステップ	物品賃貸業	宮崎市

※上記 29 社に加えて、「地域中核的企業」の認定を受けたミツワハガネ（株）及び宮崎ひでじビール（株）についても成長期待企業として支援を行った。

イ 企業訪問等数
13社に対して延べ143回

ウ 成長期待企業への外部専門家の派遣

	企業名	専門家分野	専門家
1	(株)SUNAO製薬	接遇・ビジネスマナー	オフィスあかの 赤野千恵
2	森山工業(株)	ISO9001認証取得	(株)マネジメントフォース 久保 武志
3	(株)新原産業	人事評価、給与制度等構築	堀川寿美恵 社会保険労務士

エ 企業成長ステージアップ支援事業補助金

	企業名	内容	補助額
1	ネオフーズ竹森(株)	JFS-B認証取得	338,000円
2	(株)九建	販路拡大	1,621,000円
3	(株)山崎産業	ブランディング強化	1,037,000円
4	(株)日向屋	販路拡大	602,000円
5	(株)英楽	設備整備	3,713,000円
6	(株)英楽	設備整備	1,023,000円
7	(株)SUNAO製薬	販路拡大	405,000円
8	(株)SUNAO製薬	販路拡大	1,333,000円
9	森山工業(株)	設備投資	2,823,000円
10	(株)モリタ	設備投資	3,036,000円
		合計	15,931,000円

⑧新事業創出支援事業（事業費：19,459,647円 県）

「自己変革力」を身につけ、新たなビジネスモデルに挑戦し、環境変化に柔軟に対応できる企業を育成するため「宮崎県次世代リーディング企業」を認定し、支援計画を基にプロジェクトマネージャーの訪問による相談対応のほか、外部専門家派遣やビジネスマッチングなどの伴走支援を実施した。

ア 次世代リーディング企業の認定

次世代リーディング企業	2社
-------------	----

【次世代リーディング企業一覧】

（五十音順）

	企業名	所在地		企業名	所在地
1	(株)くしまアオイファーム	串間市	5	ミツワハガネ(株)	延岡市
2	(株)グローバル・クリーン	日向市	6	(株)ワン・ステップ	宮崎市
3	(有)産機サービス	宮崎市	7	(株)ドリームブロッサム	宮崎市
4	(株)ハニー	宮崎市	8	ミクロエース(株)	宮崎市

※7, 8が令和5年度認定企業

イ 企業訪問等数

8社に対して延べ140回

ウ 次世代リーディング企業への外部専門家の派遣

	企業名	専門家分野	専門家
1	(有)産機サービス	人事評価・給与制度等構築	金丸秀一 社会保険労務士
2	(株)ハニー	人事評価・給与制度等構築	金丸秀一 社会保険労務士
3	(株)ワン・ステップ	BCP対応構築	(有)菌田経営リスク研究所 菌田 恭久
4	(株)ドリームブロッサム	就業規則見直し	金丸秀一 社会保険労務士

エ 企業成長促進サミット2023の開催

日 時：令和5年11月7日(火)14:30～20:00

場 所：ニューウェルシティ宮崎

目 的：異業種間交流やビジネスマッチング、情報交換

参加者：成長期待企業（地域中核的企業含む）、次世代リーディング企業、各支援機関 計82名

内 容：グループディスカッション

テーマ1「営業力・販売力の強化、新規顧客・販路の開拓」（3グループ）

テーマ2「組織体制の強化」（2グループ）

講演「DX入門」 スパークジャパン(株)代表取締役 岡田憲明 氏

交流会